

表題

3密回避して分かったバーチャル人体解剖学実習の有用性

■人体解剖学実習とは

医学科2年次に、学生が4, 5人のグループに分かれて実際に人体の解剖する作業を通じて、人体構造を学び臓器の繋がりや機能を理解する科目である。

また、人体解剖学実習は、人体解剖を通じて、生命の尊厳を学び、医療人としての倫理観を養う重要な教育目的も有している。

■問題点

解剖実習室という限られた特殊空間での実習は3密にならざるを得ない。

■対応

2020年5月から6月にかけて、バーチャルでの人体解剖学実習として、高解像の解剖過程の映像と、英語の音声・キャプションで解説されている米国製のビデオ教材を導入し、19回（右図）に分けて、学生には手持ちのPCやタブレットで視聴してもらい、毎回レポートや小テストを課して学習の確認と成績評価を実施した。

感染拡大が落ち着いた9月、短期集中で、2人1組で人体解剖学実習を実施。

（右イメージ写真）

■成果など

- 解剖の過程をビデオで学んだ後に実際の解剖に臨む形（反転学習）となったことで、メスもより安全に使用できるなど解剖手技の面が例年より優れていた。また、実習を振り返ってビデオを視聴（復習）することでより学習効果も高まる。
- 従前より少人数の学生2名1組で実習に臨むことで、学生は実習により集中でき、時間的・身体的負担が軽減された分、より教科書や資料で学習することが可能となり、その後の筆記試験でも例年より良い結果となった。
- ビデオ教材は分かり易い英語で音声とキャプションが施されており、多くの人体の部位名を英語名で知り、医学英語を学ぶ上での効果も期待される。

ビデオの内容	
1	皮膚剥離、皮下組織、背部浅層筋
2	背部中層・深層の筋、後頭下部、脊髄
3	肩甲骨領域、上腕後部、胸部の筋、腋窩
4	上腕、肘窩、前腕の伸筋、手掌、手背
5	胸壁をはずす、胸膜腔、肺、縦隔、心臓（外景）
6	心臓（内景）、上・後縦隔
7	前腹壁の筋、腹壁をめくりかえす、腹膜と腹腔
8	腹腔動脈、胃脾胆肝膵、腸、門脈
9	消化管をはずす、腹膜後臓器、後腹壁、横隔膜
10	肛門三角、男性の外生殖器と会陰から骨盤隔膜
11	女性の外生殖器、尿生殖三角、会陰から骨盤隔膜
12	表在静脈、皮神経、大腿前区画、内側区画
13	臀部、大腿の後区画、膝窩
14	下腿の後区画・外側区画・前区画、足背、足底
15	頸部浅層、前頸三角、甲状腺と上皮小体、頸根
16	顔面、耳下腺領域、頭皮、側頭部
17	頭蓋の内部、抜脳、硬膜と静脈洞、頭蓋窩、眼窩
18	環椎後頭関節、頭蓋をはずす、咽頭
19	鼻腔、口蓋、口腔、喉頭、耳

